

【 九 重 町 】

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果（小学校：国語）

1 調査結果の分析

小学校：国語

- 教科の正答率で見ると、国語は全国と比較して+1.2ポイントであった。
- 学習指導要領の領域等の正答率では、「書くこと」のみ-6.5ポイントであり、「話すこと・聞くこと」+2.3ポイント、「読むこと」+2.1ポイント、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」+4.7ポイントと、3領域で全国を上回った。
- 問題形式別平均正答率では、「選択式」-0.6ポイント、「短答式」+5.5ポイント、「記述式」-0.9ポイントであった。
- 正答度数分布では11問（14問中）正解の割合が多い。
- 正答度数分布で、0問～3問のみ正解の児童が11.8%いる。
- 無回答率については、全国と比較して-1.2ポイントであった。

※全国と比較して、特に「書くこと」の領域に課題がある。

2 具体的な改善方策

小学校：国語

次のような視点を持って指導を行っていく。

- より説得力をもって自分の考えを伝えるために、調べて分かった事実の中からふさわしいものを取り上げ、自分の考えとの関係を十分に捉えて書くことができるようにする。
- 図表やグラフが掲載されている教材文を扱う学習において、図表やグラフを用いた筆者の目的やその効果を捉えながら、自分の表現に生かすことができるようにする。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うようにする。
- 分章を書く様々な機会を捉えて、文脈に沿って接続語の役割を理解するとともに、接続語を使って文を分けて書く指導を工夫する

【 九 重 町 】

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果（小学校：算数）

1 調査結果の分析

小学校：算数

- 教科の正答率で見ると、算数は全国と比較して－0.5ポイントであった。
- 学習指導要領の領域等の正答率では、「図形」のみ＋0.8ポイントであり、「数と計算」－5.7ポイント、「量と測定」－2.5ポイント、「数量関係」－5.8ポイントと、3領域で全国を下回った。
- 問題形式別平均正答率では、「選択式」－2.3ポイント、「短答式」－3.9ポイント、「記述式」－5.0ポイントであった。
- 正答度数分布では8問（14問中）正解の割合が一番多く、次に12問正解が多いという2山になっている。
- 無回答率については、全国と比較して－0.1ポイントであった。

※全国と比較してすべての領域で課題があるが、特に「数と計算」「数量関係」の領域に課題がある。

2 具体的な改善方策

小学校：算数

次のような視点を持って指導を行っていく。

- 図形の構成についての見方を働かせ、示された図形の面積の求め方を解釈し、求め方について説明することができるようにする。
- 複数の資料の特徴や傾向を関連付け、一つの資料からは判断することができない事柄について判断することができるようにする。
- 計算の順序についてのきまりを確実に理解できるようにする。
- 計算に関して成り立つ性質を見だし、表現することができるようにする。
- 除法の式の意味を理解できるようにする。

【 九 重 町 】

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：国語）

1 調査結果の分析

中学校：国語

- 教科の正答率で見ると、国語は全国と比較して+1.0ポイントであった。
- 学習指導要領の領域等の正答率では、「書くこと」-1.0ポイント、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」-4.5ポイントであり、「話すこと・聞くこと」+4.7ポイント、「読むこと」+2.1ポイント、と、2領域で全国を上回った。
- 問題形式別平均正答率では、「選択式」±0ポイント、「短答式」-5.1ポイント、「記述式」+3.3ポイントであった。
- 正答数度数分布では8問（10問中）正解の割合が多い。
- 正答数度数分布で、0問～2問のみ正解の生徒はいなかった。
- 無回答率については、全国と比較して-1.9ポイントであった。

※全国と比較して、特に「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域に課題がある。

2 具体的な改善方策

中学校：国語

次のような視点を持って指導を行っていく。

- 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめることができるようにする。
- 手紙の基本的な形式を理解し、文字の大きさや配列に注意して書くことができるようにする。

【 九 重 町 】

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：数学）

1 調査結果の分析

中学校：数学

- 教科の正答率で見ると、数学は全国と比較して－2.8ポイントであった。
- 学習指導要領の領域等の正答率では、「図形」＋1.3ポイント、「資料の活用」＋4.2ポイントであり、「数と式」－10.8ポイント、「関数」－1.6ポイントと、2領域で全国を下回った。
- 問題形式別平均正答率では、「選択式」－4.0ポイント、「短答式」－2.8ポイント、「記述式」－1.6ポイントであった。
- 正答度数分布では11問（16問中）正解の割合が一番多い。また、低位層の生徒も多くいる。
- 無回答率については、全国と比較して－4.8ポイントであった。

※全国と比較して、特に「数と式」の領域に課題がある。

2 具体的な改善方策

中学校：数学

次のような視点を持って指導を行っていく。

- 数の集合と関連付けて四則計算の可能性について考察できるようにする。また、四則計算の結果の特徴を捉えて、正の数と負の数の必要性和意味を理解できるようにする。
- 数学的に表現したことを事象に即して解釈することができるようにする。
- 問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにする。
- 代表値の必要性和意味を理解し、代表値を求めることができるようにする。
- 文字式を用いた説明を読み、式変形の目的を的確に捉えることができるようにする。

【 九 重 町 】

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：英語）

1 調査結果の分析

中学校：英語

- 教科の正答率で見ると、数学は全国と比較して－10.0ポイントであった。
- 学習指導要領の領域等の正答率では、「聞くこと」－3.5ポイント、「読むこと」－7.6ポイント、「書くこと」－16.6ポイントと、すべての領域で全国を下回った。
- 問題形式別平均正答率では、「選択式」－7.9ポイント、「短答式」－19.7ポイント、「記述式」－4.4ポイントであった。
- 正答度数分布では11問（21問中）正解の割合が一番多い。また、ほとんどの生徒が正答数12問以下である。
- 無回答率については、全国と比較して－2.6ポイントであった。

※全国と比較して、すべての領域に課題があるが、特に「書くこと」の領域が一番の課題である。

2 具体的な改善方策

中学校：英語

次のような視点を持って指導を行っていく。

- 聞くだけにとどめずに、把握した内容について適切に応じることができるようにする。
- 日常的な話題や社会的な話題に関する説明などを読んで、最も大切な部分を読み取ることができるようにする。
- 読むだけにとどめずに、読んだ内容について、自分の考えを整理して述べることができるようにする。
- 文の中で適切に接続詞を用いることができるようにする。
- 場面や状況から文の形式や動詞の形（時制）を適切に判断し、正確に書くことができるようにする。
- 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができるようにする。
- テーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができるようにする。

平成31年度 九重町における取組の重点

☆学習環境の見直しと低学力層の児童生徒への支援の充実

- いじめ・不登校対策の徹底と人権教育の充実
- 個別の指導計画、学習状況個人カルテの作成と活用

☆活用力の向上

- 学校図書館を活用した授業実践と読書の取組の充実
- 「主体的・対話的で深い学び」（協調学習を含む）の実現に向けた授業改善の実施

☆授業改善の取組

- 新大分スタンダードの徹底
- 全国学力・学習状況調査の誤答分析と授業改善の推進
- 漢字の読み書きや英単語の語彙など基本的な知識の定着
- ペア・グループ活動の充実（適切な課題設定）

【 九 重 町 】

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問紙）

1 調査結果の概要

児童質問紙

○小学校においては、次の項目で全国平均よりも5ポイント以上高い数値を示している。

- ・先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか。
- ・学校のきまりを守っていますか。
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。
- ・日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか。
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。
- ・国語の勉強は好きですか。
- ・国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか。
- ・算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。
- ・5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

○小学校においては、次の項目で全国平均よりも5ポイント以上低い数値を示している。

- ・毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。
- ・算数の勉強は好きですか。

○中学校においては、次の項目で全国平均よりも5ポイント以上高い数値を示している。

- ・自分には良いところがあると思いますか。
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。
- ・日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか。
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。
- ・1，2年生の時に受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか。
- ・数学の勉強は好きですか。
- ・数学の授業の内容はよく分かりますか。

○中学校においては、次の項目で全国平均よりも5ポイント以上低い数値を示している。

- ・将来の夢や目標を持っていますか。
- ・新聞を読んでいますか。
- ・家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。
- ・1，2年生の時に受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか。
- ・国語の勉強は好きですか。
- ・英語の勉強は好きですか。
- ・英語の勉強は大切だと思いますか。
- ・英語の授業の内容はよく分かりますか。
- ・あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたいと思いますか。
- ・1，2年生の時に受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていますか。
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）。

2 九重町の児童・生徒質問紙の調査結果をふまえて

<成果>

- 規範意識が高い。
- 学習習慣が身につけている児童生徒の割合が高い。
- 「総合的な学習の時間」を始めとした課題解決学習が進められている。
- 授業の中でグループやペアでの話し合い活動が仕組まれている。
- 地域との関わりが大きく、地域について学習したり、イベントに参加したりしている割合が高い。

<課題>

- 肯定的な回答が低い教科は、学力にも課題がある。よって教科に対する意欲化や学ぶ目的を明確にする取組が必要である。そのためには、教科指導において日常生活を結び付けることも大切である。
- 小中ともに予習・復習に取り組ませる指導が必要である。

以上のことから、新大分スタンダード、小中7年間を見通した総合的な学習の時間を活用した「このえ学」、ペア・グループ活動を取り入れた授業（協調学習も含む）の取組が、学校全体で組織的に推進されていると推察できる。しかし、学校ごとに見ていくと取組に大きな差があることも明らかになった。

以上のことをふまえ、今後は授業やペア・グループ活動における課題の設定についての研究、地域教材の掘り起こしと地域人材の有効的な活用、家庭学習などについて小中が連携した取組をよりいっそう推進していくことが必要である。

【 九 重 町 】

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果（学校質問紙）

1 調査結果の概要

小中学校：学校質問紙

○肯定的な回答

- ・学校として業務改善に取り組んでいる。
- ・授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている。
- ・学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる。
- ・職場見学や職場体験学習を行なっている。
- ・家庭学習の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っている（教科共通）。

○一部課題が見られる回答

- ・将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導。
- ・個々の教員が、自ら専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教科教育に関する研修会等に定期的・継続的に参加している。
- ・学校内の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり検討したりしている。
- ・授業では課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組むことができているか。
- ・特別の教科 道徳において、児童生徒自らが自分自身の問題としてとらえ、考え、話し合うような指導の工夫をしているか。
- ・前年度までに、習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたか。
- ・国語で様々な文章を読む習慣をつける授業を行ったか。
- ・算数で発展的な指導を行ったか。
- ・英語で補充的な学習の指導を行ったか。
- ・英語で原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝えあう言語活動を行ったか。

2 九重町の学校質問紙調査の結果をふまえて

- 1 教育条件整備
- 2 研修機会の保障と研究会等の情報提供
- 3 組織的な学力向上の推進と授業改善
- 4 このえ学園基本計画に基づいた小中連携・地域保護者との連携の推進